

(様式1)

自己評価表

学校名 愛媛県立八幡浜工業高等学校

学校番号 35

教育方針	教育基本法の本質にのっとり、人格の完成を目指し、民主的國家及び社会の形成者として必要な資質を養い、公共の福祉に貢献する人間性豊かで実践的な技術者を養成する。	重点努力目標	基礎・基本の定着と、意欲を持って心豊かに生きる生徒の育成 ー思いやる心 自律の心 挑戦する心ー 『ものづくりから人づくり・夢づくり、安心・安全で信頼される学校づくり』 1 確かな学力を身に付けさせる学習指導の推進 2 一人一人を見つめた温かい生活指導の推進 3 個性豊かな人間性の育成と特別活動の充実 4 職業観・勤労観の育成と実践的キャリア教育の推進 5 地域を愛し行動できる人間の育成(ボランティア活動の推進)
------	--	--------	---

領域	評価項目	具体的目標	評価	目標の達成状況	次年度の改善方策
学校	教育活動の公開と情報発信	各種「たより」の家庭への持ち帰らせや掲示板への貼り出し、ホームページの内容を充実させることにより、教育活動の情報を発信する。 (八工だより発行・掲示板掲示回数) 各 A:12～10回 B:9～7回 C:6～4回 D: 3～ 1回 E: 0回 (配布物家庭持帰り率) A:75%以上 B:74～60% C:59～45% D:44～30% E:30%未満	B	各種「たより」を毎月遅れることなく家庭へ持ち帰らせ、掲示板への張り出しもできている。 各種「たより」や学校行事の更新等ホームページの内容を充実させることができたが、確実に全員が配布物を保護者へは渡せていない。	これまでと同様に保護者に毎月初めに「たより」が届くことを知っていただき、届かない場合は子どもに催促していただくように今後とも願います。生徒には、自分も目を通すことと、保護者に必ず渡すように今後も指導を継続していきたい。 ホームページの内容や更新を充実させ、情報を発信していくように努めていきたい。
	保護者の意見反映	PTA総会や理事会、保護者懇談会、行事等の保護者参加率向上を図り、保護者の意見・要望を把握して、学校改善に生かす。 (PTA総会出席率) 各 A:30%以上 B:29～20% C:19～15% D:14～10% E:10%未満	A	出席率が32.4%であり、目標は達成できた。	更なる出席率向上を目指し、啓発活動等の工夫を試みたい。
経営	図書館環境の整備と充実	読書啓発活動を推進し、生徒希望図書を購入等により、図書館環境の整備に努め、年間一人当たりの図書貸出し冊数4.0冊を目指す。 「図書館通信」を年10回発行する。 (図書貸出冊数年間1人当たり) A:4.0冊以上 B:3.9～3.0冊 C:2.9～2.0冊 D:1.9～1.0冊 E:1冊未満 (図書室利用者数1日当たり) A:30人以上 B:29～20人 C:19～10人 D:9～5人 E:5人未満	A	委員等による読書啓発活動を行い、新刊図書を購入や「図書館通信」の発行も例年通り行った。 年間一人当たりの図書貸出し冊数は数値目標を越え、4.1冊と増えた。図書館利用者数は、来館する生徒が固定化しており、目標数値を達成できなかった。	ICT機器の充実により、授業で図書館を活用する機会が少なくなっているが、Wi-Fi設備を充実させて教科や部活動や委員会との連携を図りながら、調べ学習やミーティング等で活用できるようにしていきたい。 来館を促す広報活動を続けるとともに、図書の購入や企画等で活性化を図っていきたい。
	教職員の業務改善	ワーク・ライフ・バランスの適正化を図る。教職員の働き方改革を進め、休暇の取りやすい職場環境を整える。 (時間外勤務時間80時間(月)以下の教職員の割合・有休年10日以上の取得率・ワーク・ライフ・バランスがとれていると感じる教職員の割合) 各 A:90%以上 B:89～80% C:79～70% D:69～60% E:59%以下	C	コロナの収束により、教育活動が平常化したことが、教職員の多忙感に影響していると考え。今年度は職場の働き方改革として、「No残業デー」の実施、「勤務時間外の電話対応のメッセージ化」、週1回の清掃カットなど様々な方策を講じてきた。教職員のワーク・ライフ・バランスの適正化にはまだまだ工夫が必要だと考える。	今後は校務分掌の精選や部活動改革などを通して、教職員にとって働きやすい環境づくりを更に進めていきたい。 コロナ禍で縮小したり中止したりしていた行事についても、安易に復活させるのではなく、リモートや縮小しての開催などの工夫をし、精選を重ねていきたい。

学 習	教科指導の充実	生徒による授業評価を基に教科指導の課題について教科会で検討し、授業改善を図る。相互授業研修期間を含め、校内外で一年間5回以上、授業参観や教科の研修を行い、授業力向上に努める。 (授業の理解度(ポイント)) A:3.0以上 B:2.9~2.7人 C:2.6~2.0人 D:1.9~1.3人 E:1.2~1.0人 (相互授業研修参観回数(年)) A:5回以上 B:4~3回 C:2回 D:1回 E:0回	A	I C Tの活用も進み、授業改善に努めた結果、授業理解度は平均値は3.54(最大値4)であった。 また、相互授業研修参加は、年間5回目目標のところ、平均5.4回となった。	授業評価アンケート調査の結果を受けて、更なる授業改善に取り組む、授業の理解度を上げたい。 授業評価や相互授業研修の機会を活用するとともに、普段の授業への生徒の自発的な取組を評価する方法を更に研究し、工夫していきたい。
	指導	定期的な家庭学習時間調査を行い、家庭と連携し、学習習慣の定着を図る。定期的実施しているエスタブリッシュメントテストの充実を図る。 (家庭学習時間(平日1日当たり)) A:1時間以上 B:59~45分 C:44~30分 D:29~15分 E:15分未満 (家庭学習時間(テスト期間1日当たり)) A:3時間以上 B:3~2時間 C:2~1時間 D:1~0.5時間 E:0.5時間未満	C	家庭学習の状況を見てみると、調査前日は2~3時間程度勉強しているが、平日や調査発表~調査の前々日までの学習時間が1時間に満たない。 また、エスタブリッシュメントテストの平均点も、昨年よりも低下しており、生徒の学習意欲や基礎学力が低下していることが推測できる。	調査に取り組む姿勢の大切さを啓蒙するとともに、普段の授業から適切な課題を課すだけでなく、国・数・英のエスタブリッシュメントテストへの取組を促すなど、学習習慣の定着を図り、基礎学力の向上に努めたい。
工 業	実践的技術者としての知識・技術	各種資格取得・検定試験合格個数(3年間)6個以上を目指す。 A:6.0個以上 B:5.9~4.0個 C:3.9~2.0個 D:1.9~1.0個 E:1.0個未満	B	各種資格取得・検定試験合格個数は5.8個で、目標が達成できなかった。	各種資格取得・検定試験合格個数は、機械土木工学科が5.9個、電気技術科が5.0個で科によって多少差がある。全体的には、資格・検定試験に挑戦しない、受験しても不合格になる生徒が多かったため、合格させるために、現在の倍くらいの補習時間の確保をしていきたい。
	教育	ものづくりの推進	A	各種大会においては、高校生ものづくりコンテスト愛媛県大会において、旋盤部門・電気工部門で3位入賞や全国選抜高校生溶接競技会にて個人優勝、WRO決勝大会にて3位入賞・国際大会出場などの成果が得られた。 中学生対象のものづくり教室・小学生対象のエネルギー教室などの行事も予定通り実施し、好評であった。 課題研究発表会(3年)やインターンシップ発表会(2年)を各科で実施し、ホームページにも掲載した。	入学生の減少に伴い、ものづくりに興味がある生徒も減少している。生徒を指導する時間の確保も難しくなっているため、有効な改善策が見いだしていきたい。 地域連携については、計画していたものや他団体から依頼のあったものについて実施することができたが、参加生徒が確保できなくなってきているため、生産部に入部してくれる生徒の勧誘が急務であり、対処していきたい。
特 別 活 動	ボランティア活動の推進	各教室のボランティア活動関係の掲示板を充実させ、参加する意義を教えるとともに意識の啓発にも努め意欲的な参加を目指す。 (ボランティア活動等の自主的参加1人当たりの回数) A:1回以上 B:~3/4回 C:~1/2回 D:~1/4回 E:1/4回未満	D	新型コロナウイルス感染症が5月に5類へと移行した今年度は、12回のボランティア活動に延べ47名の生徒が参加した。	学校行事を含めたすべての活動では、目標である一人1回以上をクリアできるが、自発的に参加した生徒は目標に遠く及ばない結果であった。より一層啓発活動を充実させ生徒の認知度を高めること、参加しやすい環境を整えていくことで、自主的参加数を1回に近づけていきたい。
	学校行事の充実	充実した生徒会の活動となるよう委員会を10回以上開催し、積極的に参加したくなるような学校行事にする。 (生徒会委員会開催数(年)) A:10回以上 B:9~7回 C:6~4回 D:3~1回 E:0回	A	久しぶりに一般公開の行事が開催できるなど本校に来ていた多く行事が実施できた。その実施と成功のため自発的に企画運営にあたり、活発な活動を行った。	4年間のコロナ禍による外部と交流を持つ行事の実施ノウハウがやはり廃れていた。継続して実施することが行事開催のノウハウの維持には必要だと痛感した。生徒が各種行事を自主的に運営できるようこれからも継続して活動をしていきたい。

<p>特別活動</p>	<p>部活動の充実</p>	<p>生徒自ら意欲的に取り組めるような魅力ある部活動にし、部活動加入率95%以上を目指す。 (部活動の加入率) A:95%以上 B:94~80% C:79~65% D:64~50% E:50%未満</p>	<p>A</p>	<p>運動部93名、文化部72名合計165名が部に加入している。そのうち、18名は2つの部を掛け持ちして活動している。 生徒数が減少している中で、レスリングや電気技術のWRO世界大会出場など、今年も各部良い成果を残している。</p>	<p>生徒が減少し、学校が再編される令和8年には1年生がいなくなるなど、厳しいなかでも全国大会や世界大会に出場するなど素晴らしい結果を残している。本校にある資源を有効に活用して、生徒がやりがいを持って活動できるようしっかりと支えていきたい。</p>
<p>生徒</p>	<p>基本的生活習慣の確立</p>	<p>保護者との連携を密にし、欠席・遅刻・早退ゼロを目指す。 頭服指導を徹底し、本校生徒としての品位を失わないような身だしなみを心がけさせる。 (遅刻者数(年延数)) A:5人10回以上 B:10人20回 C:20人40回 D:30人50回 E:40人60回 (早退者数(年延数)) A:1人3回 B:3人5回 C:5人10回 D:7人15回 E:10人20回 (頭服指導の合格率) 各 A:75%以上 B:74~60% C:59~45% D:44~30% E:30%未満</p>	<p>B</p>	<p>遅刻数は、1年14人18回、2年9人17回、3年7人17回である。1、2年生の遅刻数が多いが大半は通院、体調不良である。学年が上がるにつれて遅刻人数も減少しているが、特定のものが遅刻しており、基本的な生活習慣が確立されていないと考える。また、今年度はケガをする生徒が多く、通院での遅刻が多かった。 早退する生徒は通院以外ほとんどいない。 頭髪服装については、上級生になるほど合格率も高くなり、校内での大きな乱れはなく一定の成果が見られるが、規程についても社会の動きに柔軟に対応していきたいと思う。</p>	<p>今後も、ホームルーム担任を中心とした個別指導と5分前登校の奨励を通して、社会人として通用するように生徒に基本的な生活習慣の確立に向けて自覚を促していきたい。また、他の教職員と連携して入室届・早退処理の徹底を図りたい。 更に家庭との連携を密にし、身だしなみを含めた基本的な生活習慣が身に付くよう保護者に協力をお願いしていきたい。</p>
<p>指導</p>	<p>規範意識と社会性の醸成</p>	<p>交通安全教室、非行防止教室等を通して生徒の規範意識を育成する。 校門指導、教科指導、部活動指導を通して挨拶を励行させる。 (交通事故発生件数(年)) A:0件 B:1件 C:2件 D:3件 E:4件 (特別指導以上の問題行動発生率(年)) A:0% B:0.50% C:1% D:1.5% E:2% (挨拶のできる生徒) A:75%以上 B:74~60% C:59~45% D:44~30% E:30%未満</p>	<p>B</p>	<p>挨拶は、教職員・生徒の評価は高く、校門指導、教科・部活動での指導の成果が現れている。学校を離れるにつれ評価が下がっており、家庭での挨拶における協力も必要であると考えられる。 交通ルール・マナー、ヘルメットの着用については、命にかかわる問題であるので今後も100%を目指していきたい。</p>	<p>挨拶は、これまでの校門指導を中心とした挨拶運動を専門委員会や、保護者の協力を得ながら継続していきたい。 校内での問題行動も発生しており、生徒の変化を敏感に感じ取ることができるように、日頃の言葉掛け等を大切にしていきたい。 更に非行防止教室、全校集会等での指導を通して、規範意識の向上に努めたい。また、校門指導や登校指導を通して、交通ルールの徹底やヘルメットの着用の重要性や交通安全意識を向上させたい。</p>
<p>人権</p>	<p>人権啓発の推進</p>	<p>人権・同和教育ホームルーム活動や講演会、「人権だより」などを通して人権尊重の意識を高める。 内容の充実した「人権だより」を年10回発行する。 (「人権だより」発行(年)) A:10回以上 B:9~7回 C:6~4回 D:3~1回 E:0回</p>	<p>B</p>	<p>人権集会や講演会、人権委員夏季研修会など、これまで中止されていたものが通常開催でき、また、人権・同和教育訪問もあったことで、例年よりも意識を高めることができたと思う。 「人権だより」の発行回数は、目標を達成できなかったことで、人権委員の継続した取組を進めていきたい。</p>	<p>例年通り、講演会や人権集会を開催して人権啓発の機会を今年度より増やしていきたい。 「人権だより」は発行回数を減らす代わりに、内容の充実を図りたい。人権委員会の活動内容をより効果的なものに改善し、有意義な活動報告ができるようにしていきたい。</p>
<p>教育</p>	<p>いじめをなくする取組</p>	<p>いじめめる生徒、いじめられる生徒ゼロを目指す。 いじめに関するアンケートを年2回実施し、教職員全員でいじめの防止及び早期解決に取り組む。 (生徒の相談体制の充実度) A:90%以上 B:89~80% C:79~70% D:69~60% E:59%以下</p>	<p>B</p>	<p>1回目の調査では、解決済みの事案が1件しかなかったが、2回目の調査では「見た」という項目が増加していた。特別指導となるいじめ事案が1件あり、年末年始を挟んで対応が遅れてしまったところがあった。早期対応のため、教職員の情報共有や連携を図っていきたい。</p>	<p>従来どおり未然防止に努めるとともに、教職員全体で、いじめやその他生徒が抱える問題を見付けたら、教職員間の意思疎通と連携を図りながら、早期解決に努めていきたい。</p>
<p>進路指導</p>	<p>就職指導の充実</p>	<p>キャリア教育を充実させることにより、望ましい職業観・勤労観を育成する。 就職試験の1次合格率90%以上を目指す。 (就職試験の1次合格率) A:90%以上 B:89~75% C:74~50% D:49~30% E:30%未満</p>	<p>B</p>	<p>各科・各学年における職場見学や進路ガイダンス、3年時には応募前見学を行い、生徒の職業観や勤労観の育成を図ることができた。 求人状況は良好で、生徒個々の希望に沿った就職内定を得ることができた。1次合格率は97.7%であった。</p>	<p>今後も校内での進路情報をこまめに発信するほか、公的機関や行政の主催するガイダンスや企業説明会を積極的に活用し、生徒の職業理解を深め、進路選択の幅を広げていく。 生徒個々の能力や適性を見極めて企業とのマッチングを図り、1次合格率の上昇および早期離職率の低下に努めていきたい。</p>

進路指導	進学指導の充実	生徒一人一人の希望に合わせた進路相談や進学情報の発信を積極的にを行い、大学・専門学校などへの第1志望合格率90%以上を目指す。 (大学・専門学校などへの第1志望合格率) A:90%以上 B:89~75% C:74~50% D:49~30% E:30%未満	A	オープンキャンパスへの参加や担任・部活動顧問との進路相談により志望校研究を行い、個々の生徒の希望に沿った進路を実現することができた。第1希望の学校への合格率は100%であった。	生徒の気持ちを尊重しつつ、なるべく早めに志望校や受験形態が決定し、余裕を持って受験対策を進められるよう、生徒・保護者に分かりやすい情報提供に努めていきたい。
学校保健	健康管理と保健指導の充実	健康診断結果の的確な把握と適切な指導を行うとともに、具体的な指導を計画し基本的生活習慣の確立を図る。 「保健だより」を毎月1回発行する。 (保健だより発行回数) A:12~10回 B:9~7回 C:6~4回 D:3~1回 E:0回	B	健康診断の結果を通じて、生徒が自他のからだや健康に注意すべき点について、わかりやすく指導した。 保護者に情報をすばやく発信することで、病気や異常の早期発見と医療機関での早期治療につなげることができた。	健康診断後の事後措置において、受診勧告、経過観察することに加えて、受診勧告を必要としなかった生徒にもアプローチしていきたい。すべての生徒に対して、よりよい健康の保持増進のため、ニーズに応じたタイミングのよい健康相談や保健指導、保健教育につなげていきたい。
学校安全	安全意識の向上	様々な非常変災に対応できるよう、避難訓練を年3回実施することにより、生徒・教職員の安全に対する意識向上を図る。 (危機管理模擬訓練(年)) A:3回 B:2回 C:1回 D:一回 E:0回 (予告なしの防災訓練(年)) A:1回以上 B:-回 C:-回 D:-回 E:0回	A	本年度は(予告なしの防災訓練1回を含め)4回の防災訓練を実施した。予告なしの訓練でも生徒はしっかりと行動することができる等、生徒・教職員の安全に対する意識の向上が見られた。	緊張感を持って訓練を実施することにより、今後とも生徒・教職員の防災に対する意識向上を図っていきたい。
学校	校舎・校庭・教室の環境	校舎や校庭・教室の美化・整理整頓に努める。 (校舎・校庭・教室の環境整備度) A:90%以上 B:89~75% C:74~50% D:49~30% E:30%未満	B	財源の関係で一部修繕できていない箇所はあるものの、概ね構内の美化・整理整頓に努めることができた。	生徒が安全で安心した学校生活が遅れるよう、引き続き生徒と教職員全体で環境整備や美化に努めたい。
行政	丁寧な接遇の励行	丁寧な来客対応・電話対応に努める。 (丁寧な接遇の励行達成度) A:90%以上 B:89~75% C:74~50% D:49~30% E:30%未満	A	学校外からの苦情等は特になく、丁寧な来客対応及び電話対応に努めることができた。	保護者や地域の方等、相手の立場に立った丁寧な接遇を引き続き心掛けたい。